

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第5175365号
(P5175365)

(45) 発行日 平成25年4月3日 (2013.4.3)

(24) 登録日 平成25年1月11日 (2013.1.11)

(51) Int. Cl.	F 1
B 4 2 F 21/02 (2006.01)	B 4 2 F 21/02 B
B 4 2 F 21/04 (2006.01)	B 4 2 F 21/04 B
B 4 2 F 7/00 (2006.01)	B 4 2 F 7/00 H
	B 4 2 F 7/00 A

請求項の数 14 (全 12 頁)

(21) 出願番号	特願2010-543193 (P2010-543193)	(73) 特許権者	510197209
(86) (22) 出願日	平成21年1月13日 (2009.1.13)		エセルテ・コーポレーション
(65) 公表番号	特表2011-509852 (P2011-509852A)		アメリカ合衆国ニューヨーク州11747
(43) 公表日	平成23年3月31日 (2011.3.31)		-2340, メルヴィル, サウス・サービ
(86) 国際出願番号	PCT/US2009/030854		ス・ロード 48 ナンバー 400
(87) 国際公開番号	W02009/091738	(74) 代理人	100140109
(87) 国際公開日	平成21年7月23日 (2009.7.23)		弁理士 小野 新次郎
審査請求日	平成24年1月12日 (2012.1.12)	(74) 代理人	100089705
(31) 優先権主張番号	12/015,349		弁理士 社本 一夫
(32) 優先日	平成20年1月16日 (2008.1.16)	(74) 代理人	100075270
(33) 優先権主張国	米国 (US)		弁理士 小林 泰
		(74) 代理人	100080137
			弁理士 千葉 昭男
		(74) 代理人	100096013
			弁理士 富田 博行

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 格納可能なタブを有する綴じ込み装置、及び綴じ込みシステム

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

綴じ込み装置において、

タブ保持具を含んだ第1のカバーパネルであって、前記タブ保持具は折り重ねられて空所を形成するように固定された第1の縁部を含み、前記第1の縁部は前記第1の縁部を通して前記空所まで延びるタブ開口部を有し、前記第1の縁部から前記第1のカバーパネルの反対側に配置されたカバーヒンジまで延びる、第1のカバーパネルと、

第2のカバーパネルであって、前記第1のカバーパネルと前記第2のカバーパネルとが共にフォルダを形成するように、前記カバーヒンジで回転可能に前記第1のカバーパネルに接続された、第2のカバーパネルと、

表示部及び取付部を有する前記空所に格納可能なタブであって、前記取付部は前記空所中に取り付けられ、前記タブは、前記表示部が実質的に前記空所中に配置される格納位置と、前記表示部が前記空所から前記タブ開口部を通して延び、前記取付部が前記タブ保持具から解放されないように保持するために前記タブ保持具が前記取付部と関連付けられた延長位置との間を移動可能な、格納可能なタブとを含み、

前記表示部は、少なくとも1つの弾性的に変形可能な突出部を含み、前記格納可能なタブが格納位置と延長位置との間をスライド移動するときに、前記格納可能なタブと前記タブ開口部とが共に少なくとも1つの前記突出部を弾性的に変形させるように、前記突出部の幅は前記タブ開口部の幅よりも大きい、綴じ込み装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の綴じ込み装置において、

前記タブ保持具は、前記表示部を前記格納位置に保持するように構成され、前記格納位置では、前記格納可能なタブの上縁部が、前記第 1 のカバーパネルの前記第 1 の縁部と実質的に面一にまたは前記第 1 の縁部の実質的に下方にある、綴じ込み装置。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の綴じ込み装置において、

前記取付部は、前記タブが前記タブ保持具から取り外されるのを防止するために前記タブ開口部より幅広い、綴じ込み装置。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の綴じ込み装置において、

前記表示部は、前記延長位置と前記格納位置との間の移動に抵抗するように、前記第 1 のパネルに対して面外に曲げるための前記取付部に対して面外に弾性的に付勢された、綴じ込み装置。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の綴じ込み装置において、

前記タブは、1 つまたは複数の補強部材を備え、前記補強部材は、前記延長位置において前記タブを前記第 1 のパネルに対して面外に曲げるために、前記タブの屈曲部を弾性的に維持するように構成された、綴じ込み装置。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 5 のいずれか一項に記載の綴じ込み装置において、

前記格納可能なタブは、前記第 1 の縁部に沿った所望の位置で前記表示部のうち少なくとも 1 つを選択的に延ばすための、前記タブ保持具と関連付けられた複数の格納可能なタブを備えた、綴じ込み装置。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 6 のいずれか一項に記載の綴じ込み装置において、

前記突出部は、前記タブを前記格納位置及び延長位置に保持するように前記タブ保持具と可逆的に係合する、綴じ込み装置。

【請求項 8】

請求項 6 または 7 に記載の綴じ込み装置において、

前記タブは、前記タブが前記延長位置にあるときに、前記タブ開口部における前記タブ保持具の縁部を受容する、前記突出部と前記取付部との間に切り込みを画定する、綴じ込み装置。

【請求項 9】

請求項 1 乃至 8 のいずれか一項に記載の綴じ込み装置において、

前記突出部は、前記タブが前記延長位置と前記格納位置との間を移動するときに、適位置に触覚的にスナップ嵌めするように、前記タブ保持具と動作可能に関連する、綴じ込み装置。

【請求項 10】

請求項 1 乃至 9 のいずれか一項に記載の綴じ込み装置において、

前記タブは、ラベルを間に受容するように縁部に沿ってそれ自体に折り重ねられた、2 つの層の材料を含む、綴じ込み装置。

【請求項 11】

請求項 1 乃至 10 のいずれか一項に記載の綴じ込み装置において、

前記第 1 の縁部は、前記第 1 のカバーパネルの縁部を画定する折り目が設けられるように折り畳まれ、前記折り目に沿って前記タブ開口部が設けられた、綴じ込み装置。

【請求項 12】

請求項 1 乃至 11 のいずれか一項に記載の綴じ込み装置において、

前記綴じ込み装置はハンギングファイルであり、前記ハンギングファイルはさらに、フック状の端部を有するハンギングバーであって、前記タブ保持具及び第 1 のカバーパネルにわたって延びる前記空所内に配置され、前記フック状の端部は、前記第 1 のカバーパネ

10

20

30

40

50

ルの前記空所の外に突出する、ハンギングバーを備えた、綴じ込み装置。

【請求項 1 3】

請求項 1 乃至 1 2 のいずれか一項に記載の綴じ込み装置において、
前記突出部の幅は、スライド移動する方向と実質的に垂直な方向で前記タブ開口部の幅
よりも大きい、綴じ込み装置。

【請求項 1 4】

請求項 6 に記載の綴じ込み装置を複数備えた、綴じ込みシステムにおいて、
前記綴じ込み装置のうち異なる綴じ込み装置は、前記綴じ込み装置の第 1 のカバーパネ
ルの第 1 の縁部に沿った異なる位置で前記タブを選択的に前記延長位置にすることができ
る、綴じ込みシステム。

10

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

関連出願の相互参照

本出願は、2008 年 1 月 16 日出願の米国特許出願第 1 2 / 0 1 5 , 3 4 9 号に基づいており、その優先権を主張するものであり、その開示全体を参照により本明細書に援用する。

【0002】

本発明は、綴じ込み装置に関し、より詳細には、格納可能なタブを有する綴じ込み装置に関する。

20

【背景技術】

【0003】

タブがフォルダの縁部から延びる綴じ込みフォルダが知られている。タブは、フォルダの固定延長部分となるようにフォルダと一体に形成されるか、またはフォルダに取り付けられることができる別個の部材として設けられることができる。

【0004】

移動可能なタブをフォルダ上に設けることも知られている。例えば、米国特許第 5 , 9 9 6 , 8 8 1 号は転換可能なフォルダを開示しており、そのフォルダは、1 対の細長いスロットに固定されたタブを有し、それによりタブが表示位置と非表示位置 (o u t - o f - w a y p o s i t i o n) との間でスロットを上下に移動可能である。タブの上部は、非表示位置ではフォルダの上部に、かつフォルダから面外に突出したままになるようにスロット間の距離より実質的に幅広い。米国特許第 5 , 3 4 1 , 9 8 2 号は、フォルダの外側の隅部に配置されたタブを有する綴じ込みフォルダを開示している。タブは、隅部の両縁から延びるように 9 0 度回転させることができるように、リベットによってフォルダに固定される。米国特許出願公開第 2 0 0 7 / 0 1 1 9 0 8 2 号はフォルダタブを開示しており、そのフォルダタブは、タイトル部分をベース内で上げ下げできるように、固定したベース及び移動可能なタイトル部分を含む。タイトル部分は、下げられた位置でもフォルダから突出したままである。

30

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

40

【0005】

改良された格納可能なタブを有する綴じ込みシステムが必要である。

【課題を解決するための手段】

【0006】

本発明は、綴じ込みシステム及びその構成要素、すなわち、格納可能なタブを有する、フォルダ、バイнда、またはディバイダなどの綴じ込み装置に関する。綴じ込み装置は、第 1 の縁部を有する第 1 のパネルと、パネルの縁部に近接して配置されたタブ保持具とを備える。タブ保持具は、内部にタブを受容及び保持するように構成され、少なくとも 1 つの開口部を画定する。一実施形態では、タブ保持具は、隣接する部材の間にタブを協働して保持するように構成されたタブ保持部材を備える。タブ保持具を、任意の適切な数のタ

50

ブを保持するように構成することができる。

【0007】

綴じ込み装置は、表示部及び取付部を有する格納可能なタブを含む。取付部は、表示部がパネル及びタブ保持具と実質的に同一面内に配置された格納位置と、表示部が、タブ開口部からパネルの第1の縁部及び延長位置を越えて延び、タブ保持具が、取付部をタブ保持具から解放されないように保持するように取付部と関連付けられる延長位置との間を、タブが移動可能になるようにタブ保持具内に取り付けられる。取付部は、好ましくは、タブがタブ保持具から取り除かれるのを防止するためにタブ開口部より幅広い。

【0008】

好ましくは、表示部は、格納位置においてパネルの第1の縁部より実質的に遠くに延びない。例えば、タブは、タブの最も上の縁部が、格納位置では第1の縁部と概して面一であるように、実質的にタブ保持具と同じ高さを有することができる。

10

【0009】

一実施形態では、タブを、格納位置に移動するのに対する摩擦によって延長位置に保持することができる。こうした実施形態では、表示部は、表示部が開口部の内外にスライドできるようにタブ保持具の開口部より幅広くならないように構成することができる。あるいは、表示部は、タブを延長位置に保持するためにタブ開口部より幅広くすることができ、表示部は、格納位置と延長位置との間を移動するときに開口部を通して嵌合するように弾性的に変形可能である。

【0010】

20

表示部は、延長位置及び／または格納位置でタブ保持具と可逆的に係合するように突起部または突出部などのロック部材を含むことができる。こうしたロック部材は、好ましくは、音響的に及び／または触覚的に適位置にスナップ嵌めすることによってタブを適位置に「ロック」し、そのため、タブはタブ保持具の内外に自由にスライドしない。

【0011】

例えば、表示部は、タブを延長位置及び格納位置に保持するためのロック部材を設けるために、パネル縁部に沿って測定した横方向でタブ開口部より幅広くすることができる。表示部は、横方向の突出部を含むことができ、タブはさらに、タブが延長位置にあるときに開口部でタブ保持具の横方向の縁部を受容するために突出部と取付部との間に切り込みを画定することができる。

30

【0012】

代替として、または追加として、表示部は、タブを延長位置に保持するために、パネルに対して面外に延びることができる。表示部を、延長位置からの格納に抵抗するようにパネルに対して面外に曲げるように、取付部に対して弾性的に偏らせることができるか、または延長位置へのタブの移動に抵抗する、格納位置でのタブ保持具に対する摩擦を増大するように弾性的に面外に偏らされる。

【0013】

さらなる実施形態では、タブは、選択した位置にタブをさらに保持するように、表示部のうち取付部に近接した部分から延びる1つまたは複数の補強部材を備えることができる。

40

【0014】

綴じ込み装置は、パネル縁部に沿って配置された複数のタブ保持具と、パネル縁部に沿った所望の位置で表示部のうち少なくとも1つを選択的に延ばすための、それらのタブ保持具と関連付けられる複数の格納可能なタブとを含むことができる。さらに、綴じ込みシステム中に、複数のこうした綴じ込み装置を設けることができ、そのため、それらの装置のうち異なる装置が、綴じ込みシステムを整理するためにパネル縁部に沿って異なる位置で延長位置にタブを選択的に有することができる。

【0015】

本発明は好ましい実施形態を示す添付の図面を参照するとより良く理解されるであろう。

50

【図面の簡単な説明】

【0016】

【図1】本発明の一実施形態に従って構築されたフォルダ及び格納可能なタブの斜視図である。

【図2】本発明の一実施形態に従って構築されたフォルダ及び格納可能なタブの斜視図である。

【図3】本発明の別の実施形態に従って構築されたフォルダ及び格納可能なタブの側面図である。

【図4】図4Aは、本発明の別の実施形態に従って構築されたフォルダ及び格納可能なタブの斜視図である。図4Bは、本発明の別の実施形態に従って構築されたフォルダ及び格納可能なタブの側面図である。

【図5】本発明の別の実施形態によるフォルダ及び格納可能なタブの斜視図である。

【発明を実施するための形態】

【0017】

以下の説明ではフォルダに関連して本発明の格納可能なタブを説明するが、バイнда、ディバイダ、索引カード、ノートなど、任意の適切な綴じ込み装置が、本発明による格納可能なタブを含み得ることが理解されよう。好ましくは、タブは、1つまたは複数の紙のスタックを保持または分類する物品において採用される。さらに、綴じ込みシステム中に、格納可能なタブを有する同一のまたは異なるタイプの複数の綴じ込み装置を含むことができ、そのため、それらの装置のうち異なる装置が、綴じ込みシステムを整理するためにその縁部に沿って異なる位置で延びるタブを選択的に有することができる。

【0018】

図1及び図2を参照すると、格納可能なタブ50を有するフォルダ10が示されている。フォルダ10は1対の平坦なカバーパネル12、14を含み、それらのカバーパネル12、14は好ましくは矩形である。フォルダ10は、任意の適切なサイズ及び形状を有することができ、任意の適切な材料から作製することができる。例えば、フォルダ10は、従来の綴じ込みフォルダのサイズを有することができ、パネル12、14が折り目16に沿って互いに連結されるようにパネル12、14をヒンジ式に画定するように折り目16に沿って折られた、実質的に矩形の板紙材料の単一のブランクから形成することができる。

【0019】

フォルダ10は、カバーパネル12、14をヒンジ式に連結する背16の反対側に位置する縁部など、フォルダ10の縁部に近接した1つまたは複数のタブ保持具30を含む。フォルダ10がタブ保持具を両方のパネル12、14に含むように、反対側の縁部19にもタブ保持具を含むことができる。タブ保持具30は1つまたは複数の開口部32を含み、それらの開口部32中にタブを挿入することができる。タブ保持具30は、実質的に縁部18全体に延びる単一のユニットを含むこともでき、縁部18に沿って配置された複数のタブ保持ユニットを含むこともできる。

【0020】

好ましい実施形態では、タブ保持具30は、パネル12の縁部20を折り、その折り目部20を好ましくはパネル12の内側に接着して固定することによって形成される。他の実施形態では、別個のタブ保持具構造を、フォルダ10に、例えば接着によって取り付けることができる。タブ保持具30は、好ましくは、フォルダ10の厚さまたは容積を大幅に追加することはない。好ましくは、外周縁部22など、折り目部20の一部分のみがパネル12に接着して取り付けられ、そのため、取り付けられていない折り目部及びパネル12がそれらの間にタブ保持空所34を形成する。他の実施形態では、個々の空所34を分割するように、開口部32の間など、折り目部20の他の部分をパネル12に取り付けることができる。空所34は、内部にタブ50を受容するように寸法設定される。好ましくは、空所34の高さ36は、タブ50の高さ63に実質的に一致する。他の実施形態では、空所34の高さ36は、タブ50の高さ63より高くても低くても良い。

【0021】

スロットなど、タブ50を受容するタブ開口部32は、例えば折り目部20及び／またはパネル12のうち縁部18に近接した部分を取り除くことによって、タブ保持具30中に画定される。開口部32は、折り目部20またはパネル12のいずれかあるいはそれらの両方の一部分を取り除くことによって形成することができる。開口部は、折り目部20及びパネル12を取り付ける前または後に形成することができる。

【0022】

開口部32は、好ましくは、タブ50を延長するために内部のタブ50を手でつかむのを容易にするように、サイズ設定及び構成される。開口部は、図1及び図2に示すような台形の構成、図3及び図4に示すような矩形の構成、または湾曲した構成などの他の構成など、任意の適切な構成を有することができる。フォルダ10は、任意の適切な数の開口部を含むことができる。例えば、開口部の数は、所望のフォルダ及びタブの構成、ならびにフォルダ及びタブのサイズに基づいて選択することができる。幅約30.48から38.1cm(12から15インチ)の従来のマニラフォルダまたはハンギングフォルダは、フォルダの縁部に沿って1から7個の開口部、好ましくは2から5個の開口部、より好ましくは3または4個の開口部を含むことができ、それらの開口部は対応する数の格納可能なタブを保持する。より小さいタブを使用する場合は、より多くの開口部及び格納可能なタブも可能である。フォルダ10が複数の開口部32を含むときは、開口部32は、好ましくは、隣接するタブ50が互いに接触しないような適切な距離だけ離れている。一例では、隣接する開口部の隣接する端部は、少なくとも約2.54cm(1インチ)だけ離れている。好ましくは、隣接する開口部は、約2.54から10.16cm(1から4インチ)だけ離れている。

【0023】

タブ50は、図1に最も右寄りのタブで示すようにタブ50がフォルダ10の縁部18を越えて延びない格納位置と、図1に真ん中のタブで示すようにタブ50が縁部18を越えて延びる延長位置との間を移動可能になるように構成される。格納位置では、タブ50の上側縁部58は、好ましくは、概して縁部18と面一にまたは縁部18の下方にある。このようにして、タブ50は、フォルダ10が閉じているときは、外装カバー14によって、見えないように隠されるか、またはパネル12の縁部を視覚的に遮らない。タブ50は、手で押し引きするなど、タブ保持具30内で上下にスライドさせることによって格納位置と延長位置との間を移動可能である。タブ50は、ある高さまで引かれるかまたは押されるときに、タブ50とタブ保持具30との間でわずかに嵌合することによってその位置に残る。したがって、タブ50は、タブ保持具30の高さ36によってのみ制限される任意の所望の高さまで移動することができる。

【0024】

タブ50は表示部52及び取付部54を備える。取付部54は、開口部32に受容されタブ保持具30内に保持されるように構成される。一実施形態では、取付部54は側方フランジ56を含む。タブ50が完全に延長位置に引き出されるときは、側方フランジ56は、タブ50が滑って開口部32の外に出ることを防止するために縁部18の閉じた部分に当接する。したがって、タブを、側方フランジ56が縁部18に接触するまで引き上げることができ、取付部54がタブ保持空所36の底部に接触するまで押し下げることができる。好ましくは、取付部56を開口部32から意図せずに取り出すことを避けるのを助けるために、空所34の深さ36は十分小さく、フランジ56の高さ65及び幅61は、曲げることなしにタブ50をひねって開口部32から出すのを防止するように構成される。

【0025】

表示部52は任意の適切な幅67を有することができ、その幅67は、例えば、特定の綴じ込みシステムのサイズ、タブ保持具の開口部のサイズ、及び所望の仕様に基づいて選択することができる。幅が約38.1cm(15インチ)までの従来のマニラフォルダまたはハンギングフォルダについては、表示部52の幅67は、好ましくは少なくとも約0

． 6 3 5 c m (1 / 4 イ ン チ) 、 よ り 好 ま し く は 少 な く と も 約 1 . 2 7 c m (1 / 2 イ ン チ) 、 さ ら に 好 ま し く は 少 な く と も 約 2 . 5 4 c m (1 イ ン チ) 、 最 大 約 3 0 . 4 8 c m (1 2 イ ン チ) 、 好 ま し く は 最 大 約 2 5 . 4 c m (1 0 イ ン チ) と す る こ と が で き る 。 好 ま し い 例 で は 、 幅 6 7 は 約 2 . 5 4 から 7 . 6 2 ま た は 1 2 . 7 c m (1 から 3 ま た は 5 イ ン チ) で あ る 。

【 0 0 2 6 】

好ましくは、取付部 5 4 の幅 6 1 は開口部 3 2 の幅 3 8 より広い。例えば、幅 6 1 は、開口部 3 2 の幅 3 8 より少なくとも約 0 . 6 3 5 または 0 . 8 3 8 2 c m (1 / 4 または 1 / 3 イ ン チ) 、 好 ま し く は 少 な く と も 約 1 . 2 7 c m (1 / 2 イ ン チ) 広 く す る こ と が で き る 。 幅 6 1 は 、 開 口 部 3 2 の 幅 3 8 より 最 大 約 7 . 6 2 c m (3 イ ン チ) 、 好 ま し く は 最 大 約 5 . 0 8 c m (2 イ ン チ) 広 い 。 好 ま し い 例 で は 、 幅 6 1 は 、 開 口 部 3 2 の 幅 3 8 より 約 1 . 2 7 から 2 . 5 4 c m (1 / 2 から 1 イ ン チ) 広 い 。 タ ブ 5 0 の 高 さ 6 3 は 、 好 ま し く は 、 タ ブ 保 持 空 所 3 4 の 高 さ 3 6 より 広 く な く 、 よ り 好 ま し く は 、 実 質 的 に 空 所 3 4 の 高 さ 3 6 に 一 致 す る 。 タ ブ 5 0 の 高 さ 6 3 は 、 好 ま し く は 、 少 な く と も 約 1 . 2 7 c m (1 / 2 イ ン チ) 、 よ り 好 ま し く は 少 な く と も 約 1 . 9 0 5 c m (3 / 4 イ ン チ) 、 最 大 約 7 . 6 2 c m (3 イ ン チ) 、 よ り 好 ま し く は 最 大 約 5 . 0 8 c m (2 イ ン チ) で あ る 。 好 ま し い 例 で は 、 タ ブ の 高 さ は 約 1 . 9 0 5 c m (3 / 4 イ ン チ) から 5 . 0 8 c m (2 イ ン チ) で あ る 。 好 ま し く は 、 フ ラ ン ジ 5 6 の 高 さ 6 5 と タ ブ 5 0 の 高 さ 6 3 と の 比 は 、 約 1 : 1 0 から 約 7 : 1 0 、 よ り 好 ま し く は 約 1 : 5 から 1 : 2 で あ る 。 代 替 の 実 施 形 態 で は 他 の 適 切 な 寸 法 を 用 い る こ と が で き る 。

【 0 0 2 7 】

取付部 5 4 は、好ましくは、タブを変形することなしにタブ保持具内で単にタブをひねることによって、例えば側方フランジ 5 6 を互いに向かって撓ませることによって、タブ 5 0 がタブ保持具 3 0 から取り出されるのを防止するのに十分な幅 6 1 及び高さ 6 5 を有する。図 2 に示す実施形態では、取付部 5 4 の対角線距離 2 0 1 は対角線距離 2 0 3 より十分大きく、そのため、タブ 5 0 を変形することによってタブ 5 0 を開口部 3 2 中に挿入することができるが、タブ 5 0 のフランジ 5 6 がまず空所 3 4 の高さ 3 6 の下側端部または上側端部のいずれかに当接しさらなる回転を防止するので、タブ 5 0 を回転させることによってタブ保持具 3 0 を取り出すことはできない。

【 0 0 2 8 】

表示部 5 2 は、格納位置では少なくとも部分的に開口部 3 2 に受容され、延長位置では縁部 1 8 を越えて延びるように構成される。好ましくは、表示部 5 2 は、手で押し引きすることによって開口部 3 2 の内外にスライドするようにサイズ設定及び構成される。好ましい実施形態では、表示部 5 2 は、開口部 3 2 の幅 3 8 より広くなく、そのため、簡単に開口部 3 2 の内外にスライドすることができる。例えば、表示部 5 8 は、図 1 に示すように幅が実質的に一定である、概して矩形の構成を有することができるか、または図 2 に示すように下方向に傾斜した側方縁部を有することができる。他の実施形態では、表示部 5 2 の少なくとも一部分は、タブ 5 0 を延長位置に保持するために開口部 3 2 より広くすることができる。こうした実施形態では、表示部は、格納位置と延長位置との間を移動するときに開口部 3 2 を通して嵌めるように弾性的に変形可能とすることができる。

【 0 0 2 9 】

好ましくは、表示部及び取付部は、図 1 及び図 2 に示すように実質的に連続し、すなわち、一方からもう一方までその間に目に見える分割または中断する部分なしに延びる。

図 3 乃至図 5 を参照すると、格納可能なタブ 1 3 0 、 2 3 0 、 1 5 0 を有するハンギングフォルダ 8 0 が示されている。フォルダ 1 0 と同様に、フォルダ 8 0 は任意の適切なサイズ及び形状を有することができる。好ましくは、フォルダ 8 0 は、1 対の平坦で、概して矩形のフォルダパネルを含み、そのフォルダパネルは、実質的に矩形の板紙材料の単一のブランクから形成され、折り目に沿って互いに連結される。

【 0 0 3 0 】

図 3 乃至図 5 に示すフォルダ 8 0 は、1 つまたは複数のタブ保持具 9 0 を含み、そのタ

10

20

30

40

50

ブ保持具90は、図1及び図2に示すタブ保持具30と同様の構成を有し、タブ保持空所233を画定する。例えば、タブ保持具90は、パネル82の縁部をそれ自体の上に折り、その折り目部の底側縁部104をパネル82の内側に取り付けることによって形成することができる。任意選択で、折り目部105の横方向の縁部及び開口部102間の領域107を、パネル82に取り付けることもできる。好ましくは、空所233の高さ103は、少なくともタブ150の高さ153と同程度であり、そのため、タブの最も上の縁部159は、格納位置ではフォルダ80の縁部88と概して面一であるかまたはそれより下方にある。フォルダ80の開口部102は、好ましくは、タブ保持具90が取付部134、234、154の少なくとも一部分、より好ましくは、実質的にその全体をカバーするように構成される。他の実施形態では、開口部102は、タブ保持具90の高さ全体、または実質的に全体に延びることができる。

10

【0031】

図1及び図2に示すタブ50と同様に、図3乃至図5に示すタブ130、230、150はそれぞれ、表示部132、232、152及び取付部134、234、154を備え、格納位置と延長位置との間を移動可能になるようにタブ保持具90に取り付けられる。タブ130、230、150は、1片の材料をそれ自体の上に折って、ラベルなどの挿入物をそれらの間に受容することによって形成することができる。

【0032】

好ましい実施形態では、表示部132、232、152はロック部材を備え、そのロック部材は、格納位置及び延長位置においてタブ130、230、150を適位置に保持するのを助け、タブ130、230、150がそれらの位置の間を自由にスライドするのを防止する。ロック部材は、格納位置でタブ保持具90と可逆的に係合し、タブ130、230、150の延長または格納のときに、検知可能なフィードバックを与えるように、延長位置でタブ保持具90から解放される。好ましくは、ロック部材は、音響的に及び／または触覚的に適位置にスナップ嵌めすることによってタブを適位置に「ロック」し、そのため、タブはタブ保持具の内外に自由にスライドしない。適位置へのスナップ嵌めに加えて、タブ保持具90に対するタブ130、230、150の摩擦など、タブ130、230、150を移動させ続けるのに必要な力を著しく変更することによって、タブ130、230、150の延長または格納の程度に応じて変わる触覚的フィードバックを与えることもできる。

20

30

【0033】

例えば、延長位置及び格納位置にタブ130、230、150を保持するためのロック部材を設けるために、表示部132、232、152は、パネル縁部88に沿って測定した横方向でタブ開口部102、108より広くすることができる。ロック部材は、突出部162、164間の端部同士の距離165が開口部102の幅108よりわずかに広がるように、図5に示す横方向の突出部162、164を備えることができる。距離165は、好ましくは、突出部162、164を、ほとんど力を使わずにタブ保持具90に挿入し、そこから取り出すことができるように、単に幅108よりわずかに長くすべきである。ユーザは、例えば、縁部を一緒に撓ませることによって、突出部162、164を開口部102中に挿入することになる。突出部162、164は、好ましくは、延長位置と格納位置との間で移動するとき開口部102を通して嵌合するように、弾性的に変形可能である。タブ150が延長位置に引き出されるときは、突出部162、164は解放され、開口部102から「ポップアウト」する。好ましい例では、距離165は、幅108より少なくとも約0.254cm(0.1インチ)、好ましくは少なくとも約0.635cm(1/4インチ)広く、幅108より最大約3.81cm(1と1/2インチ)、好ましくは最大約2.54cm(1インチ)広い。より好ましくは、距離165は、幅108より約0.635から1.27cm(1/4から約1/2インチ)広い。綴じ込みシステムが突出部162、164を有する複数のタブ150を含むときは、隣接するタブ150は、好ましくは、隣接するタブの突出部が互いに接触しないように離れている。

40

【0034】

50

タブ150はさらに、タブ150が延長位置にあるときに開口部102でタブ保持具90の横方向の縁部を受容するために、突出部162、164と取付部154との間で表示部152の両側に切り込み166、168を含むことができる。したがって、それらの切り込み166、168はさらに、延長位置と格納位置との間でタブ150を把持及び移動するのを容易にする。切り込み166、168は、任意のタブ構成を構成することができ、図5のタブ150など、タブが横方向の突出部を有することが特に有利である。図5のタブ保持具90は、タブ保持具90の両側部から突出しているハンガーバー85も備えている。

【0035】

10

好ましい実施形態では、表示部152及び切り込み166、168の両方が、指を使ってタブ150を曲げる必要なしにタブ保持具90の開口部を横切って延長または格納するために、タブ150を引くかまたは押すのを可能にするのに十分浅く傾斜している。したがって、切り込み166、168はまた、開口部102を通るように十分な力または圧力がそこに加えられるときに、タブ保持具90の内外にスナップ嵌めまたはポップイン／アウトすることによって、格納位置と延長位置との間で触覚的フィードバックをもたらす。切り込み166、168に加えて、こうしたスナップ嵌めまたはポップングの効果を位置間でもたらすように、任意の他の適切な特性を用いることができる。

【0036】

20

好ましくは、表示部152及び切り込み166、168は、延長／格納方向Aに対してそれぞれ角度171、173だけ傾斜している。表示部152の傾斜171は、好ましくは延長／格納方向Aに対して少なくとも約3度、より好ましくは少なくとも約5度、最大約60度、より好ましくは最大約40度である。切り込み166、168の傾斜173は、好ましくは延長／格納方向Aに対して少なくとも約5度、より好ましくは少なくとも約7度、最大約70度、より好ましくは最大約50度である。好ましい実施形態では、傾斜171は延長／格納方向Aに対して約5から20度、傾斜173は約15から45度である。

【0037】

図3に示す実施形態では、タブ130は、開口部の幅に実質的に一致する実質的に一定の幅を有することができ、横断方向に突出する、湾曲した縁部142、144を備えるロック部材を含み、格納位置へのタブ130の格納に抵抗するように延長位置でパネル82に対して面外に延びる。タブ130が格納位置にあるときは、突出する縁部142、144は、タブ保持具90によってパネル82に押し付けられ、延長位置へのタブ90の移動に抵抗するタブ保持具90に対する摩擦を増大するように弾性的に面外に偏らされる。タブ130が延長位置に引き出されるときは、縁部142、144は、タブ保持具90から「ポップアウト」し、タブ130を延長位置に保持するためにパネル82に対して面外に延びる。

30

【0038】

図4A及び図4Bに示す別の実施形態では、タブ230は表示部232を有し、その表示部232は、延長位置からの格納に抵抗するためにパネル82に対して面外に曲がるように取付部234に対して弾性的に偏らされる。好ましくは、表示部232は、延長位置へのタブ230の移動に抵抗するために、格納位置のときにタブ保持具90に対して摩擦を増大するように、実質的にパネル82の面内にあり、タブ保持具90の空所233内に収容されるように、タブ保持具90によって弾性的に偏らされる。タブ230はさらに、弾性湾曲部235を維持するのを助けるために、補強リブ236など、1つまたは複数の補強部材を含むことができ、その補強部材は、型押しされ、エンボス加工されるか、または別法で取付部234に近接する表示部232に設けることができる。好ましくは、補強リブ236は、表示部232と取付部234との交点に近接して延びる。これらの実施形態それぞれでは、タブ130、230は、格納位置に保持されるように、タブ保持具90の内側に摩擦係合するように格納されるときに変形し、表示部132、232が面外にあ

40

50

るので、タブ130、230も延長位置で適位置に保持されることになる。

【0039】

このようにして、図3乃至図5に示すロック部材は、タブ130、230、150が延長位置と格納位置との間で引かれるかまたは押されるときに、検知可能なフィードバックを与えるか、または別法で選択した位置にタブ130、230、150を保持するのを助ける。他の実施形態では、タブ130、230、150は、ロック部材の組み合わせ、例えば、横方向の突出部と横断方向の突出部の両方を含むことができる。

【0040】

本発明による格納可能なタブは、好ましくは、曲げるのに抵抗するのに十分剛性があり、ユーザによる取り扱いに耐えるのに十分弾性があるが、タブ保持具中に挿入可能であるのに十分に可撓性がある。好ましい材料は、紙（例えば、板紙）、軽量プラスチック（例えば、ポリプロピレンやPVCなどの熱可塑性物質）、及び金属を含む。タブは、その上に直接書くか、またはその中に挿入物を保持するように構成することができる。例えば、タブは、それらの間にラベルなどを受容するためにその縁部に沿ってそれ自体を折り重ねた1部片の材料など、2つの層の材料を含むことができる。挿入物を保持するように構成されるときは、タブは好ましくは実質的に透明である。タブは所望に応じて色付けすることができる。綴じ込みシステムが複数のタブを含むときは、個々のタブは、同じ色または異なる色を有することができる。

【0041】

タブは、好ましくは、単体の構造物として形成され、従来のダイカッタなど、従来の設備で作製することができる。例えば、タブは単一の部片の材料から構成することができる。あるいは、タブを、例えば1片の材料をその縁部に沿って折り、その材料の重なった部分を互いに接合するかまたは別の方法で保持することによって2つ以上の層として形成することができる。他の実施形態では、タブは、別々のパーツ、例えば、互いに接合される別々の取付部及び表示部を備えることができる。

【0042】

タブは、矩形、台形、円筒形、または円形の構成など、任意の適切な構成を有することができる。タブは、実質的に平坦とすることもでき、面外に突出するように構成することもできる。

【0043】

本発明の格納可能なタブは、従来のタブに勝る多くの利点をもたらす。例えば、綴じ込みシステムが複数の格納可能なタブを含むときは、ユーザは、所望の数のタブを所望の位置に選択的に延長及び表示することによって、所望のタブ構成を簡単に選択及び調整することができる。タブは、手で押し引きすることによって延長位置と格納位置との間を簡単に移動するが、適位置に保持される。ロック部材を含むいくつかの実施形態では、ロック部材によってもたらされる検知可能なフィードバックによりさらに、タブが選択した位置で確実に適位置に留まる。

【0044】

本明細書で用いられるように、用語「about（約）」は、概して、対応する数と数の範囲の両方とを指すと理解すべきである。さらに、本明細書の全ての数値範囲は、その範囲の各整数全てを含むものと理解すべきである。本発明の代表的な実施形態を本明細書で開示するが、多数の改変形態及び他の実施形態が当業者によって考案されることが理解されよう。例えば、様々な実施形態に関する特性を他の実施形態で用いることができる。したがって、添付の特許請求の範囲が、本発明の精神及び範囲内に包含される、全てのこうした改変形態及び実施形態をカバーするものであることが理解されよう。

フロントページの続き

(74)代理人 100141025

弁理士 阿久津 勝久

(72)発明者 グッドフェロー, アンドリュー

アメリカ合衆国オハイオ州45220, シンシナティ, ビショップ・ストリート 3239, アパートメント 19

(72)発明者 ホルマン, クリストファー

アメリカ合衆国アリゾナ州85201, ノース・サイカモア・メサ 730

(72)発明者 ジョーンズ, ブラデン

アメリカ合衆国アリゾナ州85014, フェニックス, ノース・トゥエルブス・ウェイ 6138

審査官 青山 玲理

(56)参考文献 米国特許出願公開第2003/0074817 (US, A1)

特開平01-294098 (JP, A)

実開昭48-071921 (JP, U)

米国特許出願公開第2007/0119082 (US, A1)

米国特許出願公開第2005/0236831 (US, A1)

特開2001-150857 (JP, A)

登録実用新案第3039891 (JP, U)

独国特許発明第3718633 (DE, C1)

独国特許出願公開第3731019 (DE, A1)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

B42F 1/00-23/00

G09F 1/00-5/04